

上新電機オーディオ試聴会 (2016.9.11)

—bergmann Magne の試聴—

1. はじめに

上新電機日本橋 1 ばん館で開催された bergmann 社のアナログプレイヤー Magne の試聴会に行ってきました。

オーディオ試聴会を開催します!
アナログサウンド試聴会!
アナログレコードの良さを体感しようアナログに最適なシステムで

試聴機器

bergmann
Magne
ayon audio
Spirit III
フェーズメーション
PP-300 EA-500
B&W JBL
804D3/MR S4700

日時 2016年9月11日(日) 14時~16時
場所 当店4階リファレンスROOM
ショールーム日本橋1ばん館 担当 福山 青木 森
〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-1-11
TEL 06-6634-2111

試聴無料 予約は電話で

2. 使用機器

プリメインアンプ : ayon audio 社 Spirit III (KT150pp)

アナログプレイヤー : bergmann 社 Magne

カートリッジ : フェーズメーション PP300

フォノイコ : フェーズメーション EA500

スピーカー : B&W 804D3

JBL S4700

bergmann 社 Magne は独自のエアベアリング技術によって重量級ターンテーブルとリニアトラッキングのトーンアームをフローティングしているというものです。アンプはオーストリアの ayon audio 社の新製品の真空管 KT150 プッシュプルアンプで 3 極管接続としたものが使われました。スピーカーは B&W と JBL を使ってそれぞれの切り口で音を確認するという計画でした。



当日のセッティング

3. 試聴会の進行

最初は JBL S4700 を使用して、女性ボーカルとハリーベラフォンテのカーネギーホールライブがかかりましたが、なんとなく平凡で音像、音場とも平面的でした。次にヨー・ヨー・マのチェロがかかりましたが、チェロの艶が今一つです。フォノイコまでのラインアップではこんな音が出る筈がない、JBL の問題か、アンプの問題かと思いながら聴いていました。

さらに、ジャズ、ブルース調のボーカル、ビッグバンドがかけられ、やっと JBL が生きてきたという感じです。ここですべて盤の初めのところばかり再生されましたので、リニアトラッキングのトーンアームの効果を知りたく、内周の曲をかけてもらうよう注文を出し、ビッグバンドの内周の曲を聴きましたが、破綻なく聴けました。

ここでスピーカーを B&W に交換し、ビッグバンドの内周の曲を聴きましたが、予想に反し、このような曲でも B&W が、ばりばり鳴ってアンプの駆動力が大きいことがわかりました。また、ヨー・ヨー・マのチェロの艶っぽさも出てきました。ここからさらにハンターやソニー・ロリンズの盤の内周ばかりかけられましたが、いずれも破たんはありませんでした。

ここからリクエストタイムになり、参加者持参のハンガリアンダンスとギターのリズムつ

き女性ボーカルがかかりましたが、演奏や録音の状況などが分かるようになってきました。

残り時間は、デモ用の定番ばかり、イーグルス、ジャズ、三角帽子のリマスター盤などがかかりましたが、やっと本来の音がでてきたかなという印象でした。しかし、オケの弦や木管などは、もう少し湿度感がほしい印象でした。

4. まとめ

エアベアリングによるフローティングとリニアトラッキングのトーンアームの効果を確認できました。アンプについては 3 結でもパワー感は感じられましたが、もう少し弦などの湿度感がほしいと感じました。

以上